

Global IPv6 Summit in Japan 2002

IPv6が開く

日本の次世代情報産業の展望

2002年12月19日

株式会社 日立製作所
古川 一夫



1. 課題と期待されるもの

■ 直近の課題

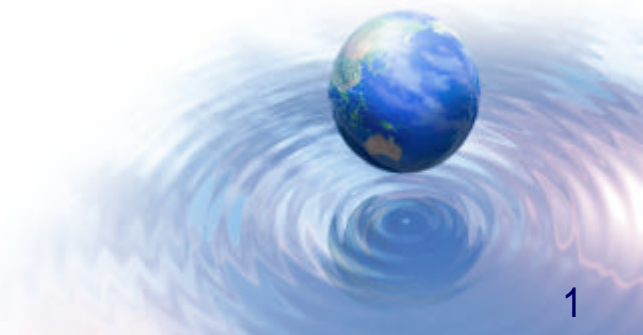
不況長期化、失業率アップ、産業空洞化等への対応
デフレスパイラル克服

■ 中長期的課題

少子高齢化、グローバル化、多様化、個人主義化、治安悪化等
への対応
社会インフラコスト増大抑止

■ 次世代ITインフラに期待されるもの

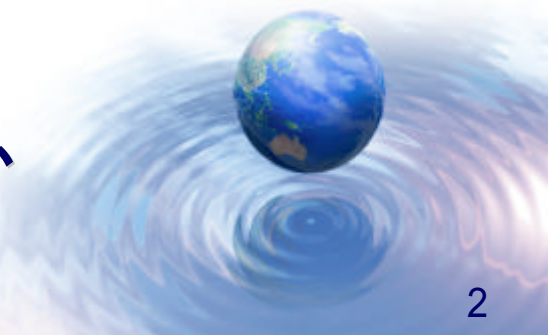
- 産業発展活性化
- 社会インフラの効率的構築



2 今後のインタ - ネットのありかた

- 現状のインタ - ネット
 - ・ 信頼度の向上
 - ・ セキュリティの向上
 - ・ ネットワ - ク構築容易化
- 今後のインタ - ネットに望まれるもの
ベストエフォ - ト型の良さを残しつつギャランティ型
Next Generation Network (アジアリ - ド)

**NGNへのソリュ - ション提供が
大手メ - カの果たすべき役割
(ネットワークインフラ、情報端末、家電機器、
放送端末、ITS、アプリケーション、等)**



3. 次世代インターネットを支える技術

- 主要技術が IP v6

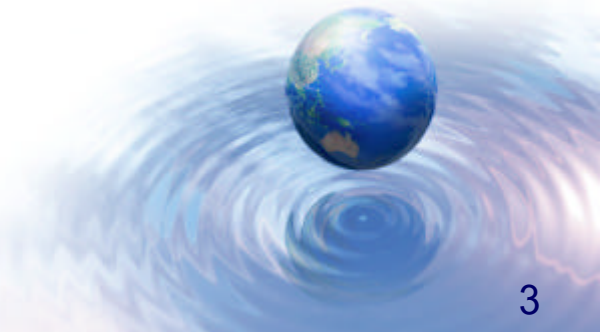
ルータ、スイッチ、サーバ、ストレージ、管理ソフトの整備
v4, v6のコスト差のないネットワーク構成可能化

- ユーザが意識しないv4 v6移行

シームレス、スムーズな移行のための技術が重要
(トンネリング、デュアルスタック、トランスレシジョン等)

まずはインフラ系の整備、

次にアプリケーションの整備



4. IPv6の効用

■ 産業発展活性化への環境作り

(“楽市楽座”ネットの実現)

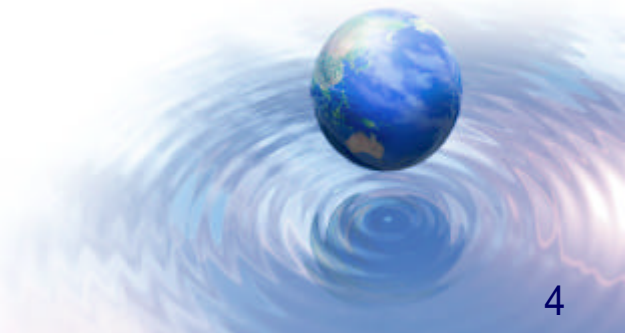
セキュリティ基盤構築、運用容易化、等

■ 国内製造業、サービス業の活性化

市場先行でのグローバルでのシェア確保、拡大、等

■ 柔軟なITインフラでの社会コスト増加を低減

電子政府、電子自治体、等



5. まとめ

■ 「情報インフラはライフライン」

電気、ガス、水道・・・のような 社会発展の基盤
いつでも どこでも 誰にでも
安価、安心、安全 に使えるインフラであるべき

IP v6での次世代 IIインフラ構築

